

4月10日 定山溪天狗岳中央クーロアル～中央稜登攀記

CL：小野 睦男 M：渡辺 祐輔 吉成 久和

駐車場 7:00～天狗平 8:00～取付き 9:00～山頂 16:00～天狗平 17:00～駐車場 18:00

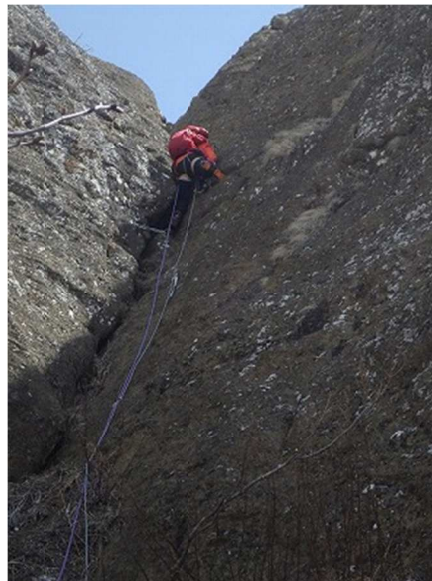
睦男さんは休むことなく進み、休憩無しで1時間ほどで天狗平に到着。沢筋にいつもの雪崩デブリなくてちょっとびっくり。一息入れてすぐ出発、支尾根の樹林帯を進む。急登になって睦男さんが遅れ始めてなぜか安堵する。あのペースでやられたらと心配していたからである。右のオープンバーンには所々クラックが入っていて数年前に来たときとはずいぶん様子が違った。ほどなく取付きに。

今回はなべちゃんがオールリードは暗黙の了解で、早速登攀準備に取り掛かる。アイゼンを履き睦男さんビレイで1ピッチ目登攀開始。見えるルンゼに雪はなくドラツウが予想される。

なべちゃんは慎重にホールド・スタンスを確認しながら登っていく。見た目はでこぼこしていて登れそうだが、岩が脆くて結構厳しいと思った。15mほど伸ばしてルンゼにある灌木でビレイ。後続二人を引き上げる。



2ピッチ目は前半草付き、後半は左にクラックのある岩登り。ここもシビアなところがあり慎重に登った。35mほどの岩壁支点でビレイ。



3ピッチ目は10mほど登ってハイマツ古木でビレイ稜線に出る。ここから見る稜線はハイマツと灌木でルートがよくわからない。なべちゃんは雪のある右壁を15mほど進むがしばらくして動きが止まり戻ってきた。厳しくなりルートが見出せないとのこと。ブッシュを漕ぎ正規のルートを通りナイフリッジ手前の灌木でビレイする。

5mほど進んだなべちゃんがしきりに「ナイフィー！ナイフィー！」と叫んでいる。確かにこの先は細いリッジだが以前登ったときは雪があったのかあまり苦労した記憶がない。無事に切り抜けて岩峰を巻き少し下ったところの細い松の木でビレイ。中央ルンゼ側はすっぱりと切れ落ちていて、高度感満点である。



ここからは一旦下ってリッジの雪壁を這い上がり、灌木帯に入りポコ手前まで一杯に伸ばした。以前使ったことのある岩峰のハーケンをはるか岩の上で使用できず。



少し下って大雪田の見えるリッジでピッチを切る。ここでしばしルート検討。ダケカンバのある最短ルートは大きなクラックが入っていて進めず。クラックが伸びるボール状の大雪田をトラバースするのも気持ちが悪い！思案の挙句踏み後のある中央突破を試みた。40mほど先の太いダケカンバでビレイ。



稜線から垂壁を2mほど下ってから、雪田歩き。最終ピッチもロープをつけて無事無風快晴の山頂に立った。周囲の山々がよく見渡せた。



帰りは雪が腐っていて、滑りやすく足をとられる。またクラックが新雪に隠れていて結構危なかった。少し斜度が落ちたところからは尻滑りを楽しみ、天狗平へ。そそくさと林道に出て駐車場に戻った。パーティシッパ良きい登攀ができたと感謝しています。またよろしくお願いします。

吉成 記